



下野小 学校だより

セコイア通信

平成30年 4月25日発行(第3号)



か て い ほう も ん

家庭訪問におじゃまします

本日より、5月2日(水)までの日程で、家庭訪問を実施させていただきます。

新しい学年になって3週間が過ぎ、だんだんと今の学年に相応しい顔立ちになってきた子も多くなってきました。どの子も、新しい環境の中で、その子なりに精一杯頑張っています。家庭訪問でも、新学期になってからのお子さんの成長といった話題が出てくることでしょう。担任からは、お子さんの学校での頑張りをいっぱい聞き出してください。そして、逆にお家の方しか知らないお子さんの学校外での素敵な姿をいっぱい担任に教えてあげてください。その日の晩ご飯の時に「先生が、〇〇ちゃんのこんなところほめてくれてたよ。〇〇ちゃんの家でのこんな話いっぱいしておいたからね。」なんていう話題が出てくれたら嬉しいな、と思います。

また、以前からこの学校だよりでもお願いしてきましたように、是非、この家庭訪問を通じて担任と仲良くなってください。保護者のみなさんと担任(を始めとする先生達)は、お子さんの成長を支え合うパートナーです。「子どもの健やかな成長」ということを中心に据えて考えたとき、保護者と担任の関係が良好であるということは、何にも増して大切なことです。担任だって保護者のみなさんと仲良くなって、本音で話したいと強く思っています。それが教職経験の少ない若手の先生であれば、尚更です。限られた時間ではありますが、たくさん話していただき、良好な関係を築くスタートとしていただければと思います。どうぞよろしくお願いします。



う ん ど う か い

と き よ う そ う

運動会における徒競走について

運動会まで、あと1カ月となりました。ゴールデンウィーク明けからは本番に向けて練習も始まります。体操服や水分補給のためのお茶の準備など、保護者の皆様には何かとお世話をおかけしますが、よろしくお願ひします。

さて、本校では、例年運動会の徒競走の組分けについて「4年生以下は男女混合身長順」「5年生以上は男女別身長順」で実施してまいりましたが、本年度から5年生以上につきましては「男女混合タイム順」での実施に変更する(4年生以下は変更なし)ことといたしました。

本校では、体育の授業は全て男女混合でおこなっており、男女混合で競技を行うことは子ども達にとってごく自然なことと言えます。かけ足記録会も然りです。運動会は、体育の授業で培ってきたものの発表の場であるわけですから、徒競走においても普段通り、男女混合で実施したいと考えます。

また、このことは、昨年度の『セコイア通信』でもふれさせていただいた「性同一性障害」(裏面へ)

や「LGBT」といった性的マイノリティの児童に対するきめ細かな配慮を求める文部科学省の方針（文部科学省「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」平成27年4月30日）にも適うものと考えます。身体上の性と心の性が一致せずに、身体の性に違和感を感じ続けている児童がいる場合、不必要な心配やストレスは、できる限り取り除くことが学校の務めと考えます。



長年にわたる本校での人権教育の指導の結果、特に高学年の子ども達において「女だから」「男だから」という意識が薄められ「人として」どうなのかという視点で考えられるなど、心の育ちが感じられるようになってきました。男女が仲良く活動する姿も日常的に見られます。今後も、お互いを尊重し助け合える場を全ての教育活動の中に設定し、男女の体力差についても「違い」「区別」として自然に受け入れられるよう育てていきたいと考えています。どうぞご理解くださいますよう、お願いいたします。

授業参観・PTA総会・学校づくりビジョン等説明会

21日（土）は、今年度初めての授業参観を実施しました。お忙しい中、たくさんの方々に参観していただきました。ありがとうございました。入学・進級し、新しいクラスになったお子さんの様子はいかがでしたか？高学年は勿論のこと、1年生を含む低学年の子達も、後ろや廊下から見てくれているお家の人に気を取られることなく、授業に集中できていたように思います。

また、その後に持たせていただいたPTA総会・学校づくりビジョン等説明会へもたくさんの方にご参加いただきました。学校づくりビジョン等説明会では、今年度、新たに3年度までの3カ年計画として作成した新しいビジョンをもとに、私から次のような内容についてお話・お願いさせていただきました。

- 子ども同士、一人ひとりがつながる「なかまづくり」の取り組みを基盤に、教科の学習の中でのつながる姿を学び合いの場ととらえ「主体的に聴き合い、話し合い、自分の考えを深め、その過程で人間関係づくりも学んでいく」学び合いの授業を今年も進めていきます。
- また、幼稚園や保育園との交流や、米作り・土曜授業での地域連携授業・昔の遊び・ふれあい餅つきなど、学校外や地域と「つながる」姿も引き続き大切にしていきたいと考えています。
- 平成32年度から実施される新しい学習指導要領に向けて、中・高学年における外国語活動や外国語科の取り組み、今年度から教科化となった道徳科の授業の充実などにも力を注いでいきます。
- 音楽や図工といった教科の充実を図ることで、子ども達に表現する喜び、素晴らしさを味わわせ、自己肯定感を育みます。
- いじめや差別を絶対に許さない取り組み、防犯、交通安全等、危機管理を重視した教育活動を進めていきます。保護者の皆様には情報提供、見守り活動等、今後ともご協力をお願いすることになるかと思いますが、子ども達が安全に、安心して学校に通えるよう、よろしくお願いします。
- 教職員の総勤務時間の縮減に向け、引き続き「教職員の定時退校日」の実施等に取り組み、働き方改革を進めます。このことに関連して、緊急の場合を除き、学校へのお電話やご相談はなるべく早い時間帯でお願いしたいと思います。午後7時を過ぎてのお電話は基本的に応対できません。また、週休日、休日は職員も勤務日ではありません。先生達が、毎日元気な顔で子ども達と向き合えるよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。